

特別支援教育 と プログラミング教育

障害のある児童生徒を対象としたプログラミング教育について
メンター（指導者）の育成講座を行います
とてもシンプルなテクノロジーを用いておりますので
初心者の方でも安心してご参加いただけます

第1回

日時 11月12日(日) 10:00～12:00 9:30開場

場所 大平特別支援学校 多目的ホール

定員 先着 15 名まで

第2回

日時 12月10日(日) 10:00～12:00 9:30開場

場所 大平特別支援学校 多目的ホール

参加費 = 無料

申し込み・問い合わせは "atokinawa.jp@gmail.com" まで

実施



主催 日本福祉大学 スポーツ科学部 金森研究室

共催 株式会社フジテレビKIDS
株式会社電脳商会
サイオンコミュニケーションズ株式会社

この講座のゴール

2020年より小学校でも必修化されるプログラミング教育について、これまで特別支援教育の分野では十分に検討されてきませんでした。そこでこの講座では、障害のある児童生徒を対象としたプログラミング教育について、その授業モデルの提案と、指導者として必要となる基本的な知識とスキルを学びます。

この講座は、日本福祉大学の金森克浩教授（元国立特別支援教育総合研究所 総括研究員）を中心に、県内外の企業による技術的サポートのもと、県内における教員有志の学習グループ「TECH! for ISHIGAKI」と「AT-Okinawa」が主催するものです。

micro:bitとは？

この講座で使うmicro:bit（マイクロビット）は、イギリスのBBCが主体となって開発された、プログラミング教育向けの小さなコンピュータです。イギリス国内では、11～12歳の全ての子供に無償で配布され、カナダやアメリカでもこれ以上の規模での展開が始まっています。

この小さなコンピュータには、25個のLEDや2個のスイッチの他、温度や傾きなどの複数のセンサーや無線通信のための機能が備わっています。

プログラミングと聞くと、暗号のように英語や数字・記号を組み合わせるような難しい印象があるかもしれませんが、micro:bitではあらかじめ準備されたブロックを組み合わせるだけで、簡単にプログラミングをすることができます。

講座の内容

プログラミング教育において重要なのは、子供たちがやりたいことをどうすれば実現できるかに寄り添い、ときに様々な方法を提示して活動を支援することです。TECH! for ISHIGAKIでは、こうした考えのもと、これまでも八重山商工の生徒を対象にメンター育成のための講座を行ってきました。

この講座では、先進的な取り組みから得られた知見を広めるため、以下のようなプログラムを計画しています。



- >
- > 第1回
- > 特別支援教育とプログラミング教育
- > micro:bitを使ったプログラミング体験
- >
- > 第2回
- > 外部講師による特別講演
- > 子供向けのワークショップ（同日の午後実施）
- >

本講座は総務省の「若年層に対するプログラミング教育の普及推進」事業における、平成29年度「障害のある児童生徒を対象としたプログラミング教育実証事業」の一環として行われます。今年度、石垣島を中心とした実証内容を県内に広く普及するため計画・実施いたします。



総務省 平成29年度事業
若年層に対する
プログラミング教育の
普及推進 in 沖縄

